

(様式第4号)

## 上田市博物館協議会 会議概要

1 審議会名	令和3年度第1回上田市博物館協議会
2 日時	令和3年5月24日 午後1時30分から3時00分まで
3 会場	信濃国分寺資料館講堂
4 出席者	児玉会長、小宮山会長代理、矢島委員、矢嶋委員、鎌田委員、神戸委員、若林委員、前澤委員、押森委員、寺島委員
5 市側出席者	和根崎市立博物館長、尾見信濃国分寺資料館長、川上庶務学芸係長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年5月24日

### 協議事項等

- 1 開 会 (事務局)
- 2 あいさつ (和根崎館長)
  - ・改選後の第1回博物館協議会の開会にあたり、委員の皆様には、博物館協議会委員を快諾いただき、心よりお礼を申し上げます。
  - ・先日の県博物館協議会総会に出席した際、どの博物館でもコロナ禍での集客が難しいことの悩みを抱えていた。上田市でも感染対策を十分に行いながら企画展や講座等を実施していきたい。
- 3 委嘱状交付 (和根崎館長)
  - ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、事前に人事通知書を机へ配布。  
任期は、令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間。
- 4 自己紹介 (委員及び事務局)
- 5 会長、会長代理選出 (事務局から資料1により選出方法の説明。その後、和根崎館長進行)
  - ・会長に立候補する委員がいるか確認。立候補なしのため、事務局案として、昨年度に引き続き児玉委員にお願いしたい旨提案。委員全員了承。  
(児玉委員が、会長席に移動)
  - ・次に会長から会長代理を指名。児玉会長から小宮山委員を指名。  
(小宮山委員が、会長代理席に移動)  
(会長、会長代理から挨拶)
- 6 博物館協議会の活動について 資料1 (事務局より資料1内容説明)
- 7 協議事項 (以降児玉会長進行)
  - (1) 令和3年度事業計画について 資料2 (事務局より説明)
    - ・協議会資料に沿って、企画展の趣旨・概要・展示予定品及び講座等の計画を説明。
    - ・市立博物館の夏季企画展「千曲川の赤い鉄橋と上田丸子電鉄の100年」は、別所線復興記念及び日本遺産認定1周年記念として計画。上田電鉄にも展示資料等のご協力をいただき、コロナ禍後の別所線電車での観光を促すきっかけとしたい。

- ・市立博物館の特別企画展「戦国武将の書状展」は、県外収集家の古文書コレクションを借用し、真田氏ほか著名な武将の自筆文書等を紹介する。
- ・市立博物館で計画している博物館講座と古文書講座は、新型コロナウイルス感染防止対策として、定員を減らし募集。応募人数多数となったため、事務局で厳正に抽選を行い、受講者を決定。2つの講座とも20人の定員に対し、それぞれ35人の応募があった。
- ・信濃国分寺資料館では、春季企画展、秋季企画展、新春特別展と講座等を計画。講座については、昨年度コロナ禍で延期や中止になったものを再度計画したが、実施にあたっては、コロナの状況等を見ながら判断したい。

#### 以降協議

(委員) 博物館では、日本遺産認定1周年記念として、鉄道企画展の他に何か考えているか。

(事務局) 市立博物館としては、この鉄道企画展のみだが、上田市としては、今年3/28に別所線全線開通記念イベントに合わせ、日本遺産の構成文化財である安楽寺と信濃国分寺で、「大日如来」の特別公開を行った。

(委員) 鉄道展については、どのように変わったかの資料もほしい。また、世代的に全くこの鉄道に乗ったことがない方が多いと思うので、その方々にもわかりやすい展示にしてほしい。博物館としては、どのような展示の工夫を考えているか。

(事務局)

- ・事前に各公民館の協力の元、「鉄道思い出カード」の回収箱を設置し、市民にカードを記入していただき、鉄道展開催期間中の市立博物館別館休憩室でカードを掲示する予定。別館休憩室等のスペースは、市交通政策課と連携し、映像等も流す予定。別館休憩室だけの利用であれば、自由に無料でご覧いただけるため、家族連れや世代を問わず、誰でも気軽に博物館に足を運んでもらうきっかけとしたい。また、思い出カードにより、たくさんの情報を集めることができるため、博物館の展示とともに地域の鉄道に関する伝承の場になったら良い。
- ・また、行政チャンネルやツイッター等を使い、若い世代への情報発信をしていきたい。

(委員) 鉄道展は、別所線復興記念と日本遺産認定1周年記念としての相乗効果があり、大変良い企画であると思う。この企画展をみて、今後別所線に乗ってみたいと思えるような展示にしてほしい。塩田平の札所巡りには、別所線を使うと大変便利なので、別所線の利便性にも触れた内容にしてほしい。

(事務局) 日本遺産と連携し、別所線のPRもしていきたい。別所線の利用促進も企画展の中で考えている。

(委員) 特別展の「書状展」について、場所は、本館1階か。

(事務局) 今年3月時点の計画では、別館展示室を予定していたが、大変貴重な資料のため、展示場所を変更し、受付職員の目の届く本館1階とする。また、上田城跡能の能面展示が8月中に予定されており、書状展と重なる時期があるが、能面展示はそれほど場所をとらないため、いずれも本館1階展示室での展示となる。

(委員) 「書状展」の展示資料は、すべて原本(本物)か。

(事務局) すべて原本(本物)。2017年と2019年に東京大学史料編纂所が調査した資料もある。

(委員) 信濃国分寺資料館の市民や親子向けの講座について、昨年度はコロナ禍による中止や延期が多く、今年3月の博物館協議会で、市民や子ども達への教育普及のための講座の必要性和コロナ禍での開催に向けた努力を要望したところ、新型コロナウイルス感染防止対策を十分にを行った上での計画が実現されていたことを嬉しく思った。

(委員) 信濃国分寺資料館の「土器は動く」の春季企画展を見た。丁寧に展示されており、とても良かった。土器の解説がもう少しあれば、土器に詳しくない方にもわかりやすかったと思う。秋季企画展では、「上田盆地の玉作り遺跡」が計画されているが、考古の展示は一般の方にはわかりづらいため、玉作りの特徴から解説があればわかりやすいのではないか。

(委員) 市立博物館の企画展では、キャプションにイラストが入っていて、とても読みやすいので、それを取り入れたら良いと思う。

(事務局) いただいた御意見を今後の展示の参考とさせていただきます。

(委員) 信濃国分寺資料館での市民講座は、名古屋大学の先生に再度講演依頼をしている。昨年、コロナの影響で中止になったが、今年も状況により判断とのこと。名古屋からの移動が難しいのであれば、講師とオンラインで結び、信濃国分寺資料館で開催することは難しいか。

(事務局) 資料館として、オンラインへの対応は難しいのではないかと考えるが、検討したい。

(委員) もし、講師とオンラインでつながったとしても信濃国分寺資料館講堂での開催では、人数を20人ほどにしなければならず、せっかくの良い講演を多くの方に聞いていただけない状況。そうすると再度延期を考える等の検討が必要と思われる。

(事務局) 資料館の市民講座については、再度検討したい。

(委員) 市立博物館に寄贈・寄託された古文書は、年々増えており、社会教育大学でも2、3年前から目録づくりをしている。随分前に市立博物館に寄贈された古文書の調査も済んでいないようなので、市立博物館でもペースを上げて古文書の調査を進め、一般に公開できるよう配慮してほしい。

(委員) 現在、古文書を受け入れた場合、調査できる体制になっていないのか。

(事務局) 現在は、博物館の職員体制は手薄であり、古文書を調査できる体制にはなっていない。市立博物館の学芸員が館長を除き1人しかおらず、企画展等の準備も行う中で、相当な負担である。

(委員) 以前は、古文書の寄贈・寄託を受けた際は、燻蒸を行ってから調査をしていたが、現在は予算がなくできないとのこと。燻蒸は、調査後としても問題はないと思われるので、まずは古文書を読む方に調査をお願いするなどしたらどうか。

(委員) 燻蒸の予算がないにしても、市立博物館として寄贈・寄託を受けた資料は、できるだけ早く調査したほうが良い。古文書は、公共財産と言われている。体制が整わない中でもできる限り行ってほしい。

(事務局) 博物館の職員体制については、人事にも相談しているが、委員の皆様にも今後相談させていただきます。

## (2) その他

今回会議で委員に配布した郷土の歴史年表『上田の歩み』について質問

(委員) この刊行物は、市立博物館で買えるのか。宣伝はしていないのか。

(委員) 歴史に興味のある方など、欲しい方が大勢いると思う。

(事務局) このたび、寺島委員にも編集委員の一人として御協力頂き、26年ぶりに全面改訂した。現在、市立博物館で、1,200円で発売している。発行部数があまり多くないため、宣伝は、増刷の目途がたってから行いたい。